

機関紙 つばさ

発行:認定 NPO 法人 よこはま成年後見つばさ

横浜市保土ヶ谷区星川2丁目2-5 TEL&FAX 045-744-5600 E-mail teamtubasa@yokohama.email.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/hama/tubasa/index.html>

発行日:2017年10月20日



タイムテーブル

- 17.10.14 小雨決行
- AM 08:00 事務所機材搬出
- AM 08:30 ブース設営
- AM 09:00 スタッフ集合
- AM 09:30 社協事務局長挨拶
- AM 09:45 開始挨拶
- AM 09:50 最初の風車希望
- AM 10:00 ペア2組到着
- AM 10:30 続々と風車希望
- AM 10:30 ペア到着
- AM 11:00 行政書士会来訪
- AM 11:30 星川地区民生委員
総務来訪
- PM 12:00 福祉保健センター
長来訪
- PM 12:10 松風学園職員来訪
- PM 12:30 神奈川新聞記者取
材
- PM 13:00 ブース最高潮 風
車希望並ぶ
- PM 13:15 被後見人 M さん
G・H の仲間と来訪
- PM 13:30 地域振興課来訪
- PM 14:00 西谷地区民生委員
総務来訪
- PM 14:00 風車在庫切れ
- PM 14:30 ブース片付け
- PM 14:50 解散

保土ヶ谷区民まつり初参加

2017年10月14日(土)、保土ヶ谷区民まつりが保土ヶ谷公園で行われました。つばさは、区役所の配慮もあって初参加できました。今回の区民まつりは、区政90周年記念であり小雨にも関わらず、大勢の人の来園で大賑わいでした。つばさのブースには、被後見人さんなどその担当者のペアが7組参加しました。得意の写真を撮ってくれた被後見人の T さん、子どもたちに風車組み立てを指導してくれた被後見人の K さんなどそれぞれ役割を果たしてくれました。将来福祉を目指す高校生や研究テーマを持つ大学院生も手伝ってくれました。





つばさの旗を掲げて宣伝しました

秋空の下であれば、つばさの旗を高々と旗めかすのですが、残念ながら当日は雨。それでもシンボルカラーのグリーンの旗が周囲でひととき目立っていました。旗を作りたいと提起すると、すぐに手作りで作りましょうと黒川さん、林田さん、内海さん、篠崎さんが呼応してくれました。旗には、「チーム DE 法人後見」と丹念に縫い込まれています。いつの間にかミニサイズの旗も出来ていました。日本一の法人後見の旗です。

お揃いのキャップをかぶって

区民まつり参加を機に、つばさのキャップを作りました。キャップの前面に、「Tubasa」と刺繍をいれました。色は、シンボルカラーのグリーンです。揃いのキャップを被ると、同志愛、家族愛が芽生えます。力を合わせてつばさの活動を推し進めます。キャップを被って、風車作りや市民公開講座のチラシを配布しました。

風車は小さい子どもに大人気

つばさのブースでは、子どもたちと風車を組み立てました。風車が珍しいのか、子どもたちには大人気でした。完成した風車に息を吹きかけて見事に回ると一斉に拍手喝采です。風車の組み立て指導には、被後見人の K さんや大学院生、高校生が大活躍でした。子どもたちに付いて来た親御さんは、法人後見の資料に見入っていました。

神奈川新聞にも掲載されました

翌日、神奈川新聞は「成年後見 楽しく紹介」「NPO 法人 区民祭り出店」と報じてくれました。取材してくれた記者からは、次のようなメールが届きました。

紙面の都合で、十分には今回の意義を伝えられなかったのですが、記事を喜んで頂けて幸いです。成年後見制度を巡っては、ひどい話がたくさん生じている中で、まさに理想とすべき取り組みだと感激しました。今後も頑張ってください。

市民公開講座の宣伝

2017年12月14日(土)、第7回市民公開講座を開催します。会場は、星川1丁目自治会館です。基調講演は、横浜国大の西森利樹先生、題して「法人後見への期待」です。シンポジウムでは、NPO法人成年後見センターかけはしの川田雪野さん、NPO法人かわさき障がい者権利擁護センターの明石洋子さん、NPO法人よこはま成年後見つばさの須田幸隆が登場します。題して、「法人後見の実践から」です。

